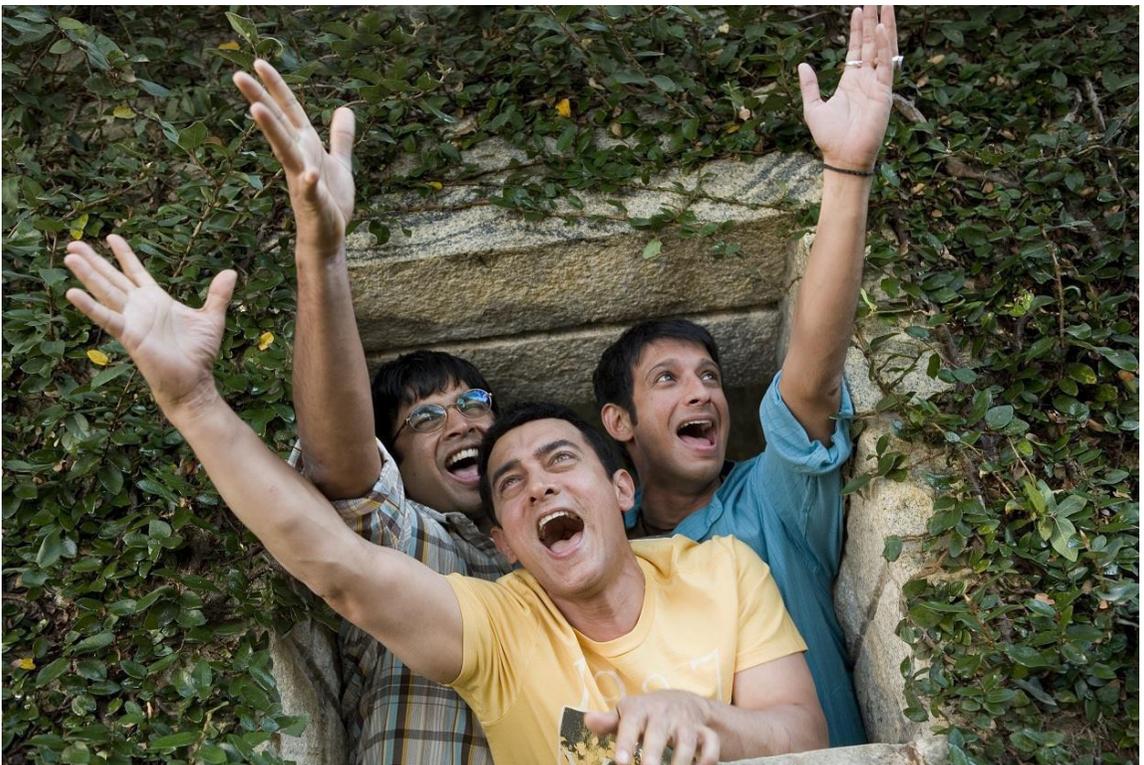


横浜キネマ倶楽部
第34号 会報
2014年2月9日発行

第34回上映会

3 idiots
きっと、ろまくい

ラージクマール・ヒラニ監督作品
(2009年/カラー/170分/ブルーレイ上映/インド/原題:3 idiots)



©Vinod Chopra Films Pvt Ltd 2009. All rights reserve

ロビー交流会

15:00~15:30

2014年2月9日(日)

[上映時間] 12:00~14:50

[会場] 横浜市西公会堂

3 idiots きつと、うまくいく

【あらすじ】

出張旅行で飛行機に乗りこんだファランの携帯電話に緊急の連絡が入る。行方知れずだった大学時代の親友、ランチョーが街に戻ってくるというのだ。慌てたファランはフライトを取りやめ、もうひとりの親友ラーजूーを連れ出して母校の大学の給水塔に駆けつける。ところが現れたのはランチョーではなく、ランチョーを目の敵にしていた同窓生のチャトゥールだった。チャトゥールは学生時代の賭けの勝敗を決するために、ランチョーが必ず現れると言い張るのだが……。



© Vinod Chopra Films Pvt Ltd 2009. All rights reserved

10年前、ファランとラーजूーは名門工科大学ICEの新入生だった。スパルタ指導の鬼学長のもと、学生たちはしのぎを削っていた。そんなファランとラーजूーと寮で同室になったのが、学内では異彩を放つ自由な心を持った男、ランチョーだった。ランチョーの破天荒なペースにファランとラーजूーも乗せられて、気がつけば3人は学内の問題児“三バカトリオ”になっていた。

【スタッフ】

監督……ラージクマール・ヒラニ
製作……ヴィドゥ・ヴィノード・チョプラ
脚本……ラージクマール・ヒラニ/
アビジャート・ジョーシー/
ヴィドゥ・ヴィノード・チョプラ
撮影……C・K・ムラーリダラン
音楽……シャンタヌ・モイトラ
編集……ランジート・バハドゥル/
ラージクマール・ヒラニ

【キャスト】

ランチョー……アーミル・カーン
ピア……カリーナ・カプール
ファルハーン……R. マーダヴァン
ラーजूー……シャルマン・ジョーシー
学長……ボーマン・イラニ
チャトゥール……オーミ・ヴァイディヤ

ラージクマール・ヒラニ 監督 プロフィール

1962年ナグプル生れ。ハートウォーミングな作品によって観客を笑いと涙で包むボリウッドの超人気監督。

大学時代の演劇活動を経て俳優を目指すのが、ムンバイの俳優養成学校では挫折を経験する。父の勧めでプネーの国立映画・テレビ研究院に進学を決めたものの、当時は俳優コースが廃止されていたため、編集コースに入学する。

2003年V・V・チョプラの製作により、『医学生ムンナ・バーイー』で映画監督デビューを果たす。ヤクザの兄貴分ムンナがひよんなことから医師を目指すというこのコメディは、現在の医療のあり方や医学部教育を痛快に風刺しており、大ヒットとなった。2006年続編の『その調子で、ムンナ・バーイー』は大ヒットとなり、ガンディー復古ブームを引き起こした。2009年には『きつと、うまくいく』を発表。学歴社会のインドに一石を投じた。インドのアカデミー賞と言われるフィルムフェア賞の監督賞等多くの賞を受賞。次作は『Peekay(PK)』で、アーミル・カーンとアヌシュカ・シャルマが主演する予定である。

よみがえりのレシピ

アンケート集計結果

来場者数 111名
アンケート総数 44枚(回答率39.6%)



作品についての評価・感想

「とても良かった」24枚 (54.5%)

- 最近、寺シネマで幸せの経済学を観ました。「4年後の経済の心配はしても、7世代後の未来を想像しない」という言葉を映画で思い返しました。
- この映画を見たのは2回目です。(2年前ぐらい)先日山形のはな農家さんの所に行って、甚五衛門芋の生産者にチラッとお会いしました。もう一回見たいと思ってきました。焼畑後のカブ畑の映像(あざやかな青々とした葉が広がる所)が何度見ても好きです。おばあちゃんが切り株に座っているところ。
- 今、TPPのこともあり、たねのことがよくわかった。在来作物、今日のこともしりたいと思った。
- 次回発酵食品についての映画楽しみにしています。
- 振り返ると子供の頃の食を思わずよみがえりました。現在のあまりにも多い食材(輸入品)に大切な物を忘れていたように思います。
- 食に携わるものとして、映画をぜひ見たかったので。上映ありがとうございました。つくる人、つたえる人、野菜、作物そのものが主役、登場人物として感じられ、ドキュメンタリーでありながら、非常に感動しました。

- 人が「経済性」と「何かを大事に考えて続けること」はいったいどこでわかれるのかを考えています。それをこの映画から、考えるヒントをいただけたのかも知れない。人が人に話していくことの思いを美しく描いてくださっています。多様化する中で、一度はすたれかかるとはなが見直されること、見直されたものが、何らかの形で、つないでいられるということのために考える人、考え続ける人、研究者の存在意義も、この映画から感じました。本当に観ることができてよかったです。有難うございました。
- 食、農業、在来作物、生活文化に興味をもってきた。印象に残った場面:作物の一生、実ができて終わりじゃなくて、種になって次につながっていく流れをすごく感じました。命をささえ合う共生関係ということ。
- 食、農業、環境・エコロジーに興味あり。印象に残った場面:小学生たちが外内島キュウリの栽培をしているところ、奥田シェフが畑でもぎたての野芋をほおばる時の幸せそうな顔。「アル・ケッチャーノ」の料理、ぜひ食べてみたくなりました。ツアーに行けたらうれしいです。
- 山形だけでなく、日本全国に同じような問題があるのだらうと思います。このような活動がもっと認知されることが今、TPPの問題があるからこそ必要だと思います。映像と音楽がとてもしっくりきてよかったですと思います。
- 山形の農家の方たちがいつくむように野菜を育てている姿に感動しました。「アル・ケッチャーノ」のお料理、ぜひ食べてみたくなりました。
- 在来作物に対する興味が出てきた。
- まさかこんな映画ができるとは? 遺伝子組換作物の真反対にあるきゅう極な考え方、生き方、アメリカの遺伝子組換種子を販売する人々にぜひ観てほしい。



- 素晴らしい記録(?)映画ですね。私も農家出なのでつかしく思います。もっと皆さんに見てもらいたいですよね。料理がたのしみになってきました。
- 在来作物に興味あり。自然と互惠関係の大切さを実感しました。



「良かった」14枚 (31.8%)

- こういう映画を作っている監督が若いのに驚いた。在来の作物の種を守る人の気持ちが尊いと思った。伝えていくことが大切。
- 農家の方が種を自分で採って代々続けているという、在来作物を作り続ける苦労がよくわかりました。
- 以前、渋谷で上映した時も、見ましたが、在来作物にかかわる人の表情が大変よいと思いました。
- 地道に丹精に育てた野菜。人間や動物の生命を支える。感謝、感謝です。
- 未来に種を残していこうと、がんばっている人達に感謝しています。
- 家でも近くの畑を借り、野菜を作っているので宝谷かぶやだだちゃ豆など食べたくなりました。今年はみかんもたくさんとれ、スーパーなどで売っている物とちがいで、本当のみかんの味がすると思いながら食べています。いろいろな野菜がスーパーに出まわり、食べたこともないものがたくさんありますが、今まで作っている作物も大事にしていかなければならないと思いました。
- 焼畑のシーン。圧巻。感謝。
- とてもおいしそうな食材達、製産者の方々の思い入れが強く伝わってきました。どう後継者を探すか、経財的に立ち立つようにするかといった側面も描かれればもっと良かった。

「普通」3枚 (6.8%)

- 食が現在とても大切にされていないと常々感じていた昨今、このような映画にとっても興味がありました。ファミレス等々食卓、家族で囲む食事も難しく、食に対する感謝が大切。種の保存と考えれば考えるほどとても重いテーマだし、日本人のきめこまやかさ、もう一度原点にかえり食の見直しをしなければいけませんね。

無印 3枚 (6.8%)

- 漬物の塩分に対する問題が出ていない。ただ、地域の野菜を守るのは、動物を守ることと同じ、環境まもること必要です。



渡辺智史監督講演についての評価・感想

- ツアー等のイベント情報を頂きたいです。次回作を楽しみにしています。
- 実際お話が聞けてうれしかったです。深みが増しました。私も味噌仕込みのワークショップをしたり、生産者さんをたずねたり、食に関わることで大切さを伝えていきたいと思っています。伝え方は難しいのですが、次回作も楽しみにしています。
- 映画の中味がよりわかった。
- 地域おこしと食に対する考えを改めて思います。
- 監督の考え方や、次の動きについて、お話を聞いてよかったです。映画からさらに、鶴岡に多くの人が直接足を運び、食にふれるようになってほしいと思いました。
- 発酵の映画も楽しみにしています。酒税法の関係などもあって、かくれているけど、家につたわる文化がたくさんあると思います。楽しみにしています。自分は日本海側の飯寿司とか、しょつるとかも好きです。あと、どぶろくとか。
- 映画を観るだけではわからない、食や農業についてのお話が聞けてとてもよかったです。静岡等、この映画の上映がきっかけになって在来作物が発見されたというお話に感動しました。子供たちの味覚がおとろえているというお話に危機感をおぼえましたが、私自身はどうだろうと心配になりました。
- ツアーの情報ください。

- 勉強になりました。
- 大変わかりやすく、良かったです。子供たちの食のレッスンの話を聞いて、子どもの好きなものばかり食卓に並べがちなことを反省しました。
- 映画作成の意味や、上映後の世の中や山形の動向が聞けてよかったです。
- 出し汁が苦手な子が居るとい話がショッキングでした。和食の無形文化遺産登録が形だけのものになりませんように。
- 庄内の食のツアーのご案内を頂きたいと思います。

横浜市内の映画館の数や状況に対してどのように感じていますか？

- 昭和の映画館が欲しい。
- 東戸塚にシネマがほしい。
- 関内アカデミーで昔していたような映画館があればと思う。

☆アンケートご協力ありがとうございます☆

◆これまでの上映作品◆ 全37回 (特別上映会3回含む)

美しい夏キリシマ/パッチギ!/カーテンコール/二人日和/ゆるる/トリノ、24時からの恋人たち/長い散歩/天空の草原のナンサ/イノセント・ボイス—12歳の戦場—/モーターサイクル・ダイアリーズ/恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船・白い馬/三本木農業高校、馬術部/ラストゲーム～最後の早慶戦/マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/縞模様のパジャマの少年/春との旅/小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/ミツバチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/ハーモニー 心をつなぐ歌/ドバーばばあ 織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ 幼き瞳の告発/メリエスの素晴らしき映画魔術&月世界旅行/かぞくのくに/警察日記/名もなく貧しく美しく/よみがえりのレシピ



『名もなく貧しく美しく』上映を終えて

山下 武信

昨年11月10日に横浜市聴覚障害者協会との共催で『名もなく貧しく美しく』の特別上映会を実施しました。この上映会では聴こえない人のための字幕を制作して、オリジナル字幕付という形で上映しましたのでそのことを少し書かせていただきます。

今回は35mmフィルムを使用しましたが、フィルムに後から字幕を追加することはできません。そこで制作した字幕を映画とは別のスクリーンに投影する方法としました。

字幕ソフトを使うことができなかつたため、字幕をすべてパワーポイントで作りました。1600枚を超える字幕スライドを制作しましたが、字幕ソフトの有難さを痛感しました。

*** **

今回の字幕制作の手順を簡単にご紹介します。

1. 映画からの音とセリフの書き起こし

映画(DVD)を見ながら聞こえる音とセリフを書き出します。

2. 漢字の確認

使う漢字を決めます。聾者の漢字読解力は、問題なく読める人、漢字は苦手な人、読めないけれども意味はつかめる人というように、かなり個人差があります。今回は常用漢字表に記載されている漢字はすべて使うこととしましたが、小学校で習わない漢字が必要と思われるものにはルビを振りました。

3. パワーポイントにコピー

できた文章を映画の流れに合うように切って、パワーポイントのスライド1枚1枚にコピーします。字幕がない場面には字幕用スクリーンが光らないように黒色スライドを挿入します。

4. カット

人間が話す速さは字を読む速さよりかなり

早いので、セリフをそのまま文字にしても読みきれません。映画では画面も見るのでなおさらです。そのためセリフをカットします。これが一番難しい作業です。

5. 字幕の行数

字幕スクリーンは映画のスクリーンと舞台との間の80cmを使います。ここに映し出すことのできる文字の行数に合わせて1枚のスライドの文字数を調整します。文字の大きさは事前の投影テストで決めました。

6. 位置取り

字幕が同じ位置に投影されるように字幕の位置を調整します。4から6の作業を繰り返し最終確定します。

7. 色

誰が話しているのか視覚的にわかりやすくするため、主な人物3人のセリフに色をつけました。

8. 投影

フィルムと字幕をリンクさせることができないため、字幕はすべて手作業で送りました。

*** **

この映画は日本で初めて聾者を主人公にした映画で、聾者にとっては特別な映画といえます。

10数年前に字幕作りを始めてから、いつか自分で字幕を作って上映したいと思い続けていましたが、今回の上映会でやっと念願がかないました。



[[横浜キネマ倶楽部のページ]]

☆☆横浜キネマ倶楽部運営委員 2013年 映画ベスト5 アンケート集計(参加者12人)☆☆

日本映画

- 1位 奇跡のリンゴ
- 2位 清須会議
- 3位 さよなら溪谷
- 3位 少年H
- 5位 はじまりのみち

外国映画

- 1位 ハンナ・アーレント
- 2位 42～世界を変えた男～
- 3位 フライト
- 4位 ゼロ・グラビティ
- 5位 あの頃、君を追いかけた
- 5位 もうひとりの息子

日本映画監督賞 宮崎駿『風立ちぬ』原恵一『はじまりのみち』若松孝二『千年の愉楽』
中村義洋『奇跡のリンゴ』
日本映画男優賞 阿部サダヲ『奇跡のリンゴ』濱田岳『はじまりのみち』
日本映画女優賞 菅野美穂『奇跡のリンゴ』夏帆『箱入り息子の恋』

<<< 前売り券購入方法についてのお知らせ >>>

[ゆうちょ振込による前売り購入]

各上映会3日前まで、ゆうちょ口座にて前売りを受付いたします。
前売り料金(1,000円)を以下の口座へご入金ください。
チケットは、当日受付にてお渡しいたします。

ゆうちょ銀行総合口座 記号 10200 番号 22932931
加入者名:ヨコハマキネマクラブ

[プレイガイドによる前売り購入]

前売り券取り扱い所:「有隣堂本店」(伊勢佐木町) TEL045-261-1231
「高橋書店」(元町) TEL045-664-7371
「シネマ・ジャック&ベティ」(黄金町) TEL045-243-9800

<<< 2013年度総会のお知らせ >>>

2014年5月を予定しております
詳細について4月上旬までに、会員宛に別途お知らせ致しますのでよろしくお願い致します。

次回上映会のお知らせ

日時:2014年6月7日(土)

①11:00 ②14:00

入場料: 会員無料/賛助会員 800円

前売り一律 1,000円

当日一律 1,300円

障害者 1,000円 介護者1名無料

会場:横浜市西公会堂

(横浜駅下車徒歩10分、相鉄線平沼橋駅下車徒歩8分)



2012 MONKEY TOWN PRODUCTION

「日本の悲劇」

2012年/101分/日本/脚本・監督・プロデューサー:小林政広/製作:小林直子

出演:仲代達矢、北村一輝、大森暁美、寺島しのぶ

ひとつ屋根の下、つつましく暮らす父と息子。

終わりがくると知った日、父は息子に何を残そうとしたのか。

大病を患い残り少ない命を悟った父親は、自室を封鎖し食事や水も摂ることをやめる。そんな父親の狂気に混乱し、怒り、悲しみ、呆然とする息子。妻と子に去られた失業中の息子は、未だ生活を立て直せず、父親の年金を頼りに暮らしていた。そんな息子を残し、扉を固く閉じた父親の真意とは……。

日本中を騒然とさせた無縁社会が生む現実

2010年7月、父親の年金が生活のよりどころだった長女が父親の死後もその死を隠し続け、年金や給付金を不正に受け取っていたという事件が報じられた。この事件に衝撃を受けた監督・小林政広は“遺書を書くような気持ち”で本作の脚本を書き上げたという。外部との接点をなくした極限状態の家族が、その果てに選ばざるを得なかった究極の愛の形——。『日本の悲劇』は誰の身にも起こりうる私たち家族の物語といえるだろう。

世界が注目する小林政広、孤高の渾身作

『バッシング』『春との旅』と、常に現代の日本を真正面から見据える大胆なテーマに挑み、カンヌをはじめとする世界各国の映画祭で称賛されてきた映画作家・小林政広。本作では、ある家族の崩壊をとおして日本が陥っている「無縁社会の深淵」を描く。小林が綴った鬼気迫る脚本を読んだ俳優たちが出演を熱望し、映画は完成した。

日本最高峰の俳優・仲代達矢x新境地を切り開いた・北村一輝

見る者を圧倒する魂のぶつかり合い!

出演者は父親・不二男に仲代達矢、息子・義男に北村一輝、別れた妻・とも子に寺島しのぶ、不二男の妻・良子に大森暁美の四人。最大の見どころは、父親の決断を阻止しようとする息子と父親の扉越しの攻防戦だ。強烈な存在感を放つ仲代と感情を剥き出しに泣き叫ぶ北村の熱演は胸に突き刺さる。世代を代表する俳優の魂のせめぎ合いに、ただただ圧倒されるだろう。

—————[事務局より]—————

《東北に映画を届けよう!募金のお願い》

東日本地震の被災者、とりわけ子どもたちに、移動上映会で映画を届けるための募金をお願いしています。ロビーにカンパ箱を設けましたので、ご協力お願いいたします。皆様からお預かりしたカンパは、コミュニティシネマセンターを通じて、被災地の事務局に届けられます。

<2014年度 新会員&更新受付中!>

- ◆入会金500円(更新時不要)、年会費3,000円(一括払い、会期は2015年3月まで)
- ◆上映会(4回)を無料で観ることができます。
- ◆特別上映会を500円でご覧になれます。
- ◆総会(年度初め)における議決権があります。

<賛助会員も募集しています!>

- ◆入会金不要、年会費1,000円(一括払い)
- ◆年度内の上映会を各800円で観ることができます。
- ◆総会の議決権はありませんが、ご出席いただけます。

横浜キネマ倶楽部会報

発行:横浜キネマ倶楽部



〒231-0012 横浜市中区相生町1の15
第2東商ビル4階-C 労働市民法律事務所気付
TEL:080-8118-8502
Eメール:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HP :http://ykc.jimdo.com